

Music Therapy

International College of Music Therapy



國際音樂療法專門學院

音楽をこよなく愛し 人と関わるのが大好きなあなたへ



音楽療法の方法

音楽療法は、音と音楽がもつ様々な要素を意図的に用いながら、対象児・者が本来持っている「生きる力」を高めるために身体、精神、社会性、情緒などの各機能面にはたらきかけるもので、その方法（技法）は目的に応じて異なります。例えば、リハビリテーション領域の音楽療法。片麻痺の対象者Aさんに手指を動かす機能訓練を目的とした音楽療法を提供する場合、楽器を提示する方向を考慮したり、音楽に合わせて楽器の音を出すことが機能訓練になるように工夫します。また、動きの激しい自閉症スペクトラムの児童Bくんへの、穏やかな動きの経験を目的とした音楽療法では、使用する音楽のテンポを徐々に変化させながらはたらきかけます。このように、音楽療法には、楽器を操作することを通して、対象児・者と音や音楽を通して目的をもって関わるのが求められるのです。

音楽療法士は、人に輝きと喜びをもたらす「音楽の魔法使い」

高齢者施設で、認知症の方が歌うことで表情にかがやきを取り戻す瞬間を経験した時、知的障害をもつ児童が楽器活動の中で達成感に満ちた微笑みを返してくれた時、音楽療法士は共によるこびに包まれる瞬間を感じることができます。

何を「学ぶ」のか

その「よろこび」を共有するために、私たちは多くのことを学ぶ必要があります。「障害」とは何か？「療法」とは何か？そもそも、人が健康に生きるとはどういう状態なのか？について理解を深めること。音楽に対する知識や人と関わる「援助者」としての心構え、姿勢（態度）について実習を通して体験的に学ぶことも大切です。そして「療法士」をめざす自分自身について知ることも。

対象児・者が変化するためには自分自身も変化することが求められるからです。

本学院の教育理念は、

知的探求心を持ち、柔軟性と創造性を身に付けた音楽療法士の養成です。授業を通して知識や理解を深めながら、仲間同士が互いに励まし合い高め合うことを理想としています。それぞれの個性と音楽的な表現力を活かしながら響き合い、豊かなハーモニーを奏でる場となることを願っています。

さあ、皆さん！学院の扉をたたき、ともに学びましょう！



学部長 吉村 奈保子

一般社団法人 日本音楽療法学会常任理事
東京音楽療法協会理事
日本音楽療法学会認定音楽療法士

私たちも応援しています！

音楽療法学科 通信コース卒業生
学会認定音楽療法士

廣田 かおる

卒年次に認定音楽療法士の試験に合格！今は高齢者を対象とした音楽療法を施設でおこなっております。通信コース在学中、普段は、すべて一人で勉強、孤独ですし不安もありましたが、スクーリングで会う同期とともに学び、お互いの悩みを話し合った仲間の存在がとてもよかったです。学院の先生も親身になって相談に乗ってくださいました。3年あるいは4年間勉強を続けていくのは大変ですが、音楽療法を通して沢山のひと々と巡り合い、学ぶことで世界が広がりました。また音楽の力で自分自身何度も励まされました。仲間が増えることを願っています。

音楽療法学科 通学コース卒業生
学会認定音楽療法士

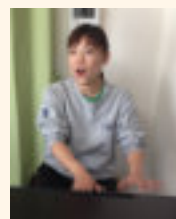
伊藤 愛



卒業後、多くの臨床経験を重ねています。現在は学会認定音楽療法士として病院や放課後デイサービス等で活動をしています。学生時代は不安な事、大変な事も沢山ありましたが、それ以上に喜び、感動の多い夢のような時間でした。今がとても幸せなのは、そんな学生時代があったから♪次の目標は地元での音楽療法！頑張ります！

音楽療法学科 通信コース卒業生
学会認定音楽療法士

井實 亜紀子



35歳の時に一念発起で音楽療法士になることを決意した私に、通信コースは新たな道を開いてくれました。仕事と家庭の両立、さらに勉強することは非常に大変でしたが、スクーリングは刺激的で本当に楽しく、学院で出会った仲間は、かけがえのない宝物です。現在は北海道で発達障がい児童を対象に活動しており、毎回「先生、楽器持ってきた？」と、元気な声と熱いハグ♡大好きな音楽を使って子ども達の成長を育める事は、大きな喜びです！

100人のセラピストがいれば、 100通りの方法がある。 共に学ぼう

顧問 松井 紀和

日本音楽療法学会元副理事長、医学博士
日本臨床心理研究所所長
北海道大学医学部卒

近年、音楽療法の必要性が様々な現場で取り上げられるようになってきました。また、音楽療法士を目指す人々もどんどん増えていく傾向にあります。音楽療法は、「人間の心身の機能、心理、生き様」などの多方面に関与する特性を持っています。よってその手法も『100人のセラピストがいれば、100通りの方法がある』と言われるのが音楽療法です。世の人々あるいは、社会機構の中の音楽療法士としての位置付けを獲得する為には、いかに「役に立てる事例を積み重ねるか」にかかっています。

その為に、現在、周辺の医療職、福祉職の方々の協力、理解をより深める為に、多くの事例研究が積み重ねられています。この積み重ねこそが、社会的評価の根幹をなすものと考えています。国際音楽療法専門学院では、すでに500名以上に渡る卒業生を輩出し、その多くが現場で音楽療法士として活躍しながら、事例研究を数多く報告しております。彼等の今後に期待すると同時に音楽療法学にも寄与できることを祈念しております。

世界を見据え、真の音楽療法士を 育成するのが私の願いです

本学院は開校以来「現場に強い音楽療法士」を育成することをモットーとしており、卒業生が「即戦力」として活躍できる所以でもあります。特長となる柱は3つあります。一つ目は、多様な実習現場と経験豊かな講師からの指導。二つ目は、多領域にわたり活躍するスペシャリストの講義を受講できること。三つ目は、「海外研修」への積極的な取り組みがあります。また、新たな取り組みとして、「音・楽（おどらく）トレーニング」という介護予防に向けた開発プログラム、幼児のための教育サポートなどの分野にも卒後の活躍の場を広げております。卒業生が培ってきた知識と経験を活かす場と音楽療法を求める現場をつなげ、提携先の開拓に邁進していきたいと考えております。音楽療法士を目指す多くの方の入学をお待ちしております。

代表 菅野 博文



植木 亜弓 講師

ケア×アートLabo ボラーノの椅子代表
デイサービス・訪問看護ステーションボラーノの椅子所長
日本音楽療法学会認定音楽療法士

高齢者の音楽療法、介護予防の音楽療法

高齢者の音楽療法は、介護予防から終末期にいたる生涯発達の支援です。そこでは、その方の病気や症状だけでなく、どんな暮らしの中で、何を大切に、誰を愛して愛されてきたかが描き出されます。その方さえも忘れていないような、そんな記憶のかけらを音楽で探し当てると、その方の笑顔が輝きます。



海沼 正利 講師

打楽器奏者

器楽

打楽器の基本的な扱い方や演奏の仕方、それらにまつわる事を学ぶ授業です。音楽療法をはじめ様々な場所や目的で打楽器を使う事はとても多い。楽器やリズムをその目的のために、より効果的に扱えるようになるための基礎技術とアイデアをこの授業から見つけてください。

即興演奏

打楽器を使って即興的に音楽や目的のためのリズム材料などを作っていくための授業です。どんな現場でも状況に応じて変化させていく必要は出てきます。臨機応変に打楽器とリズムを目的のために扱えるようになる、柔軟な演奏とアイデアをこの授業で身につけてください。



天池 穂高 講師

東京芸術大学大学院卒
作曲家

作曲法Ⅰ・Ⅱ、編曲法、和声学

クラシック、ロック、ポップス、童謡など様々なスタイルの音楽。それぞれに特有の和音のつながりやメロディーの使い方を分析し、実際に作曲してみます。最終目標は自分の作品を自ら編曲してアンサンブルすること。音楽の本質を学びながら My number ができる、素敵な授業です。

alumni association OB・OG研究会

国際音楽療法専門学院の卒業生による研究会です。卒業後も日々変化・進化する医療、施設、音楽療法の知識などを得、また交換する為に発足しました。通信生の方々の相談に乗ったり、活動の交換会などをしたりしています。事例研究会を主体に懇親会・総会も行われています。



国際音楽療法専門学院 同窓会会長
学会認定音楽療法士

関 郁史

対象者や社会のニーズに合わせて

音楽療法士が求められる事は何か？と考えた時、まず始めに思いつく事は①「対象者を理解する事」②「対象者に合わせた音楽を提供する事」③「他者を感じ臨機応変に対応する能力」そして「自分自身と向き合う事」だと思えます。2012年4月の介護保険制度の改定により、ますます保険点数の取れない音楽療法士の立場は危ういものとなってきています。しかし、別の言い方をすれば「本物の音楽療法士が求められる時代」がやってきたとも言えます。決して楽な道ではないと思えます。しかし、だからこそ遣り甲斐のある仕事だとも言えるのではないのでしょうか？音楽技術の向上のみならず福祉・医療・社会資源に至る幅広い分野の知識を身につけると共に、対象者や社会のニーズに合わせて、私たちと共に職業人としての音楽療法士を目指していきませんか？



音楽療法学部 音楽療法学科



- ★ オンラインで学ぶ!
- ★ 働きながら学ぶ!
- ★ 多彩なカリキュラムで学ぶ!
- ★ 現場実習で学ぶ!

学費 **398,000**円/年~
(税別)

最短2年で履修可能 & 資格を取得

在宅 オンライン配信にて学習

専用教材をオンラインで学習。働いている方も、地方の方も自分のペースで学習できます。

各科目の終了時 レポート提出

学習した内容は課題に沿ってレポートを提出。学習の成果を発揮しましょう!

スクーリングにて 対面講義と臨床実習

普段は個々に自宅で学習しますが、同じ志をもつ仲間同士、スクーリングで盛り上がります。悩み相談、学習相談、そして学友との出会い!

音楽療法士の
資格を
取得可能



多彩なカリキュラム



音楽分野

音楽理論 音楽通論 和声学
作曲法 編曲法 ソルフェージュ 声楽 合奏
音楽教育学 日本音楽史 日本歌謡史 など

福祉・教育分野

障害者の心理 ターミナルケア論
社会福祉概論 介護概論 など

音楽療法分野

音楽療法概論
児童音楽療法 I
精神科音楽療法 I
高齢者音楽療法
音楽療法技法体験トレーニング
コミュニケーション技能
カウンセリング論
論文指導・論文作成 など

医学・心理学分野

医学知識 リハビリテーション論
臨床心理学 生理心理学
学習心理学 など



在校生の声

福祉・教育・医療の現場で働きながら学ぶ学生、これまでの音楽経験を生かしたい学生など、入学の目的は様々です。

沖公恵さん



理学療法士として経験を積んできた今だからこそ、学びを進めています。

吉原祐輔さん



大学で専攻した音楽をどのように活用すれば、療法として成立するのか？ 実習と座学を通して学んでいます。

Y.Y.さん



介護福祉士と学生の両立はとても大変ですが、充実した毎日を送っています。

音楽療法を利用されている皆さまの声



Aくん保護者

にぎやかな時間の中で時折、フッと真剣なまなざしになる子どもをみて、毎日の積み重ねが成長につながっているのを感じています。自由に演奏する楽しさや皆にあわせる体験を通して、本人も色々な場面でチャレンジするようになっていきます。

介護付き有料老人ホーム

介護福祉士職員

懐かしい音楽が流れると、ふと視線をあげて歌詞をじっと見つめられる利用者様がいます。伴奏にあわせ、自然に手拍子をされるお姿や普段、お話しされない利用者様の口元が動き始め、ささやくように歌い始める様子を見て、音楽は何歳になっても記憶に残る宝物なのだと感じています。

論文発表
スーパービジョン自立した音楽療法士としての
観察力、問題解決力を培う

卒年次に学生一人一人がテーマを決めて卒業論文を作成します。本学の特徴は、ただ論文を執筆・提出するだけでなく、全員が一堂に会して論文発表会を開催し、学友や講師の前で自分の研究成果を発表することです。このスーパービジョンは、一人一人の発表に対して、講師の先生方から厳しい指導と講評が



なされ、議論が繰り広げられます。自立した音楽療法士としての観察力や問題解決力を培うことを目的とした論文発表の体験は、医療、福祉、教育などの現場で活躍する皆さんにとって、大きな財産になることでしょう。

カリキュラム一覧

1年次

音楽療法基礎Ⅰ・Ⅱ、歌唱伴奏法Ⅰ、音楽療法概論、児童音楽療法Ⅰ・Ⅱ、音楽療法入門、音楽理論、音楽通論、和声学、編曲法、鍵盤和声、ソルフェージュ、ピアノ、指揮法、作曲法Ⅰ、声楽、器楽Ⅰ、合唱、合奏、英語Ⅰ

2年次～卒業年

音楽療法基礎Ⅲ、歌唱伴奏法Ⅱ、音楽心理学、精神科音楽療法Ⅰ・Ⅱ、児童音楽療法Ⅲ、高齢者音楽療法、芸術療法概論、発達心理学Ⅰ・Ⅱ、感覚統合概論、老年医学、コミュニケーション技能、アセスメントと評価、音楽療法の応用、音楽療法の実践、音楽療法技法体験トレーニング、介護予防音楽療法、音響・言語聴覚概論、作曲法Ⅱ、器楽Ⅱ・Ⅲ、即興演奏、日本音楽史、日本歌謡史、音楽教育学、応用民族音楽学、英語Ⅱ・Ⅲ（原著講読）、ワークショップⅠ・Ⅱ、音楽療法Ⅳ（統計学・特論）、事例検討方法論、臨床実習Ⅰ、論文作成・発表、研究実習

中部学院大学 履修科目

医学知識、介護概論、カウンセリング論、学習心理学、生理心理学、障害者の心理、社会福祉概論、臨床心理学、ターミナルケア論、リハビリテーション論

海外
研修

在学生は、学生料金にて参加可能

本学では、音楽療法士としてのさらなる技術の向上をめざして、毎年1週間程度の海外研修を実施しています。英会話の講義、ワークショップ、施設見学など充実した内容となっています。専門分野でのノウハウを深めるだけではなく、“**音楽は心と心をつなぐ世界の言葉**”を実感し、参加者全員が新たな出会いと感動を体験する場となっています。



スタッフより

私たちがサポートいたします!!



国際音楽療法専門学院

✉ info@ongaku-ryohou.co.jp

☎ 049-226-3811 ☎ 049-226-9011

〒350-0033 埼玉県川越市富士見町11-25

http://www.ongaku-ryohou.co.jp



活用したいことを今学ぶ！

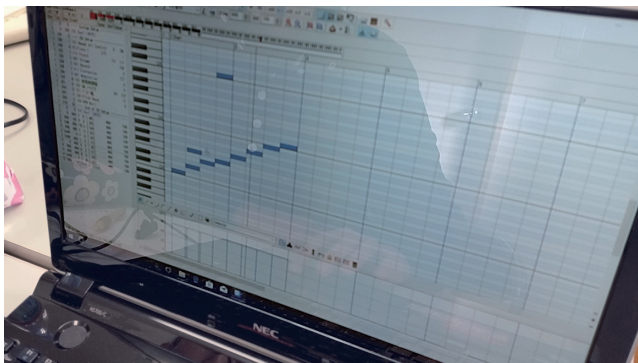
1年コース

A

音楽スキル

15万円

- ・音楽は好きだけど基礎知識を学んだことがない
- ・趣味の音楽を福祉や医療の現場で活かしたい
- ・保育や教育の現場で音楽活動を提供したい



オンライン教材とスクーリングによって音楽療法のスキルを学べるコースです。

B

実践

7万円

- ・音楽療法の現場に触れたい
- ・これまでに学んだ知識を現場で試したい
- ・経験不足な実践スキルを高めたい



様々な領域の中から提携施設である実際の現場で認定音楽療法士のサポートの下実践を積めるコースです。

C

ステップアップ

5千円～

- ・士（補）資格取得後そのままにいる
- ・やっぱり資格が欲しい
- ・自信を持って受験に臨みたい



日本音楽療法学会 認定音楽療法士 資格取得を目指す方を対象に
対面・メール・ビデオ通話指導を通して資格取得申請に必要なスキルを学びます。

D

おとらく
音・楽トレーナー

6.6万円

- ・介護予防に興味がある
- ・地域の高齢者に元気になってもらいたい
- ・専門的なプログラムを学びたい



理学療法士と健康運動指導士、音楽療法士が連携して開発した
介護予防プログラムを基本活用できるトレーナーを養成します。
試験合格者は認定修了証を発行いたします。



国際音楽療法専門学院

日本音楽療法学会 音楽療法士(補) 受験資格認定校

✉ info@ongaku-ryohou.co.jp

☎ 049-226-3811 ☎ 049-226-9011

〒350-0033 埼玉県川越市富士見町11-25



<http://www.ongaku-ryohou.co.jp>

1年コース 講座内容

A 音楽スキルプログラム 音楽療法に興味があり、少しずつ学びたい方

オンラインで学ぼう

音楽療法基礎Ⅰ・器楽Ⅰ・音楽療法基礎講座

スクーリングで学ぼう

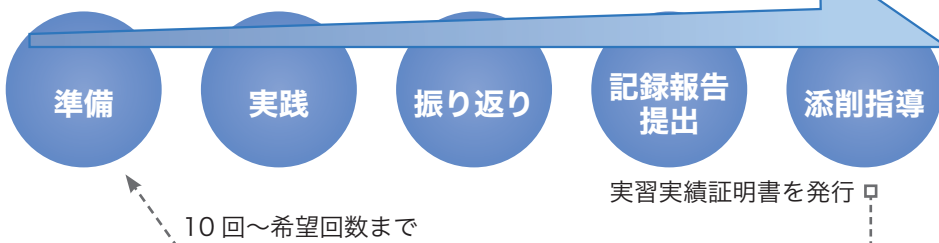
合奏・指揮法・歌唱伴奏法・実習 欠席者は翌年振り替え

修了者には履修証明書を発行

	金額 (税別)
履修基礎科目 費用 (10 単位)	100,000 円
スクーリング費用	20,000 円
実習関連科目	30,000 円
音楽スキル 合計	150,000 円

B 実践プログラム 音楽療法の現場に触れ、学びを高めたい方

提携施設にて認定音楽療法士がサポートします！



	金額 (税別)
実習費 (最低 10 回)	54,000 円
施設利用費	8,000 円
実習備品	8,000 円
実践 合計	70,000 円

C ステップアッププログラム 音楽療法士 (補) に合格された方

3つの指導で、目指せ！認定音楽療法士！



対面の他、パソコンや携帯電話を使ってステップアップ！音楽療法を自分の言葉で伝えるスキルを身につけましょう。

	金額 (税別)	対面	メール	ビデオ通話
小論文の書き方	5,000 円	●	●	
事例レポート相談・添削	5,000 円	●	●	
実技試験のポイント指導	5,000 円	●		●
模擬面接	5,000 円	●		●
ステップ・アップ 合計	20,000 円			

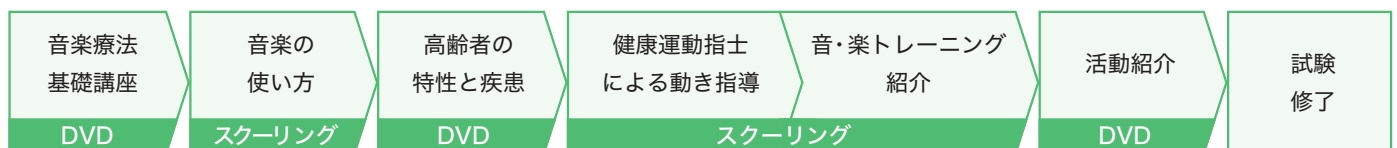
D 音・楽トレーナー 介護予防事業の関係者・ボランティア従事者

半年間の履修です

音・楽トレーナー認定修了証を発行

音楽トレーニングとは？

本学講師である日本音楽療法学会認定音楽療法士と理学療法士、健康運動指導士が連携して開発した介護予防プログラムです。音楽に合わせて「楽器を演奏する」かつ音楽に合わせて「身体を動かす」という2つの機能の連携によるバランス機能の活性化と認知予防を目指しています。



自分のペースで音楽療法を学びたい方、
音楽療法士の資格取得を目指す方

音楽心理学 音楽通論

音響言語聴覚概論

発達心理学Ⅰ 音楽療法概論

発達心理学Ⅱ 作曲法Ⅱ

音楽理論 児童音楽療法Ⅰ

日本歌謡史 鍵盤和声 など

併修校の中部学院大学で学べる音楽療法に必要な科目

医学知識	生理心理学	ターミナルケア論
介護概論	障害者の心理	リハビリテーション論
カウンセリング論	社会福祉概論	スクーリングや
学習心理学	臨床心理学	修了試験は川越で!

オ
ー
プ
ン
イ
ン
ス
テ
ー
ス
法
専
門
学
院

オープンシラバス講義概要

受講料…………… 1単位 10,000円

初回登録料…………… 10,000円

※表示価格は税抜き価格です。

音楽心理学

2単位
履修条件：なし

音楽に関係する人間の行動と精神活動について、実証的な研究を学習する。様々な事象を取り上げるが、音楽に対する知覚、認知、情動、記憶、能力、情報処理など。さらに、音楽行動、つまり作曲、演奏（表出）、鑑賞（享受）について、究明する。また、音楽聴取による気分変化や、音楽の好みと人間のパーソナリティ、拡大領域として、環境音楽についても学ぶ。

音楽療法概論

2単位
履修条件：なし

音楽療法の定義、歴史、日本の現状、音楽療法の目的と対象者、音楽療法の治療的機能特性をはじめ、音楽療法における様々な理論等を学ぶ。

音楽理論

2単位
履修条件：なし

「音楽理論」とは、音楽を言葉を用いて理解してゆく作業である。その中には、音楽通論や作曲法などの実践的な理論の他に、音楽史・音楽社会学・音楽人類学（民族音楽学）・楽器学・音響学・音楽美学・音楽教育学などの幅広い領域が含まれる。この講座では、音楽史を軸として、音楽社会学や人類学、楽器学、音楽美学などについて触れる。

音響言語聴覚概論

1単位
履修条件：なし

音、声、言語、聴覚の基礎。将来を見据えて、科学的発想法を学ぶ講義である。定性的（主観的）考え方でなく、定量的（客観的）な考え方、および、音の高さ、強度等を感じてなく、機械を用いて測定する方法を学ぶ。

児童音楽療法Ⅰ

1単位
履修条件：なし

児童を対象とした音楽療法を実践する上での基礎的知識を学ぶ。児童領域は発達ステージに沿ったプログラミングが必要である。本講義では活動の選定やプログラム検討をする上で必要な基礎知識を学ぶ。障害への理解を深め、より適切な音楽療法の提供を目指し、学ぶことを目的とする。

日本歌謡史

2単位
履修条件：なし

明治時代から現代に至る日本のポピュラー音楽の変遷について学ぶ。成人や高齢者の現場に欠かせない唱歌・童謡・軍歌・民謡・演歌・歌謡曲などの作詞・作曲家や歌手、時代背景について学ぶと共に、外来音楽の影響や、日本人特有の音感覚についても理解を深める。また、流行歌の持つ社会的機能について考察し、音楽療法における治療的価値について考える為の端緒としたい。

発達心理学Ⅰ

1単位
履修条件：なし

発達心理学（developmental psychology）とは、受胎から死に至るまでの生体心身の形態、機能の生長・変化、などを解明し、発達法則の樹立を目指す心理学の一分野である。本講義は主にライフサイクルの胎生期、乳幼児期、児童期、学童期、青年期までの各発達段階での心的、社会的、身体的な発達とそのため条件、また発達を阻害する要因や発達障害などについて理解が求められる。

発達心理学Ⅱ

1単位
履修条件：なし

障害発達心理学の観点から、発達心理学Ⅰに引き続き、青年期以降の人間関係と心理発達をライフステージでとらえ、個人の心理発達と家族の心理発達について述べるほか、障害児の心理発達について、とくに人間関係の発達の視点から述べる。

鍵盤和声

1単位
履修条件：音楽基礎知識がある方

ポピュラー音楽ならではの楽譜の記譜法や、音名などクラシック音楽との呼称の違い等、基礎知識音の名称、音程、音階、和音、調和の機能、Chord Progression、Tensionなどを学び、基礎的な知識から、コード理論、初期的なコード進行理論を学び、コードネームによるピアノ演奏をするのに必要な知識と、実践を目的とする。

音楽通論

2単位
履修条件：なし

音楽全般を体系的に学んでいく。記譜する為の知識、また音楽を言葉で説明する為の知識など、欠かすことのできない基礎理論を学習する。さらに、日常に用いる音楽の質を高めていけるよう、技能と知識を習得する。1音楽の基礎 2音楽のしくみ 3音楽の形式 4音楽の分類 5音楽の歴史と大別し、問題集と照らし合わせながら行う。

作曲法Ⅱ

1単位
履修条件：音楽大学・短大卒業者のみ

機能と和声を中心とした和声構造のまとめをはじめとして、回を重ねるにしたがい調性の枠をはみ出した内容を持つ音楽についても学ぶ。実際の曲作りそして、その演奏と鑑賞を中心とした講義である。



国際音楽療法専門学院

日本音楽療法学会 音楽療法士(補) 受験資格認定校

✉ info@ongaku-ryohou.co.jp

☎ 049-226-3811 ☎ 049-226-9011

〒350-0033 埼玉県川越市富士見町11-25



http://www.ongaku-ryohou.co.jp